

# MOE-30型 (油圧式土壤穿孔機)

## 三笠ニューズ

発行所  
東京都千代田区築港町1-4-3  
三笠産業株式会社  
電話 東京(292)1411 大代表  
テレックス 222~4607  
郵便番号 101 番  
PR 旬報 年4回発行

### 植樹作業に活躍



(厚木飛行場南側の騒音緩衝林植樹作業……後方は住宅街)

昭和五十一年にポータブルアースオーガーの呼称で油圧式のMOE-30型と、フレキシ式のMFE-30型の二つの型式の穴掘り機械が発売され、各地でお使い頂き好評を得ている。  
先頃、東京の西方約40kmにある厚木飛行場の南側に防衛施設庁の発注工事で、飛行機の離着陸時の騒音をやわらげることを目的とした、かなり大規模な植樹作業にMOE-30型ポータブルアースオーガーが使われている現場にお伺いして、能率の良い仕事振りをうかがうことができた。

厚木飛行場は神奈川県厚木市の東方約7kmの綾瀬町にあり、東京から東名高速道路を下り、一時間余りで行くことができる。ここは航空母艦ミッドウェーの艦載機墜落事故等で知られるように、アメリカ海軍と日本の航空自衛隊の基地として使われているので、離着陸する軍用機の騒音は飛行場周辺に住んでいる人達の悩みの種。これを緩和させる目的で、飛行場の南側の、道路を一つ隔てた約一四〇〇〇平方メートルの土地に、防衛施設庁が約三〇〇本の樹の植えて、飛行場騒音の緩衝林をつくることとなった。

山梅造園土木さん(群馬県太田市)は道路関係や公共施設等の植林を全国規模で手がけている。  
豊和産業さん(栃木県足利市)から本年二月に、植樹作業用としてMOE-30型ポータブルアースオーガーを購入し、今回の作業に使用されている。

三月七日小春日和の午後、畑地に約1.5mの盛土をして均らされた現場では、山梅造園土木の人達が油圧式アースオーガーに300mmのオーガーを取り付けて2.5m間隔で深さ0.5mの穴を掘り、樹の苗木を植え、植樹の済んだところは蓄えた土の樹が整然と並んでいた。10秒程で一つの穴を掘ることができた。穴の位置決め、穴掘り、植樹とこれ等の作業を二人の作業員でやり、一日で一〇〇本前後の樹の植えることができること。

樹は高さ2m位の大きさのものが植えられている。この附近は畑作地帯でポツリポツリと新しい住宅ができていくが、あと何年かしたらこの辺は樹の名所になるのだろうか。  
山梅造園土木 山田専務さんは、

植樹作業で最も時間と労力を要するのは穴掘りである。これが機械化により省力化され、能率も向上したことは非常にありがたい。経費の面でも、職人の日当(首都圏で一〇〇〇〇円前後)を考えると、機械に多少の金をかけても十分に引合、同業者に勧めたい、と導入の経過等について話された。

油圧式アースオーガーの利点については、昨年他社製のフレキシ式アースオーガーを購入し、現在、油圧式とフレキシ式の二種類のものを使っているが、フレキシ式はオーガーの回転数を調整できないので、土質が軟いところでは引き込まれ、硬い場所では作業員が振り回されたりして危険が伴う。これに反し、油圧式は手許のレバーで油圧モーターの回転数の調整が効くので安心して作業ができる。油圧モーターは回転数に変化してもトルクがフラットで出力が低下しないためである。

またフレキシ式に比べ、長い油圧ホースが付いているので、作業半径が広く使いやすい。  
現在は街路樹の支柱を埋め込む穴をあけるのにも使っているが、高速道路の路肩の植樹等にも油圧式アースオーガーの長所を生かして利用したいと述べておられた。

油圧式アースオーガーをより使い易くするため油圧ホースのガードの考案およびオーガー等に関する大変有益な二一三の改良意見も山田専務からお伺いすることができた。  
これは早速技術部に伝えて、実施できるものから逐次取入れることとした。  
お忙しいなかを御教示頂いたことに感謝し、厚木の現場を去った。  
— 原田記 —



(2.5mおきに穴を掘り樹が植えられる)

## MVC-300G型

### プレートコンパクター

#### 電話線埋設テストで好成績



三月三日(金)岐阜県美濃加茂市に於いて、MVC-300G型プレートコンパクターを使って埋戻し作業の現場テストを公開した。

の碎石層の締固め作業に先づ取掛った。一往復すると碎石がきれいに埋込まれる、強力な締固め性能に加えて毎分1.8mのスピードで能率よく作業が進む。  
地表から0.8mの深さで締固められた碎石の上に0.2mの厚で碎石を入れる。今度は300G型の輦圧盤の左右両側に幅100mmのエクステンション・プレート(補助輦圧盤)を取付けて、締固め幅を200mmに引き上げて作業を続行。一回往復して計約5cm沈下している、碎石が締固められているのを見ていくと判る。このように厚0.2mの碎石の締固めを繰返し、表面までをきれいに仕上げることもできた。

このプレートコンパクターは、レバー一本の操作で容易に前後進をすることができ、二軸偏心式起振装置を備えた最新の重量級締固め機械で、今回使用したガソリンエンジン搭載の300G型の他に、ディーゼルをのせる300D型がある。  
本日のテストの結果については、立会った方々からスピードもあり締固めも申し分ないとお話を聞いた。  
— 坂本記 —



一度で碎石を締固める。両側にエクステンション・プレートを付けている。

昭和53年度  
建設機械展示会の開催  
主催 日本建設機械化協会  
四月二十日(木)~二十四日(月)  
札幌市南区川沿町四条二丁目  
三笠新製品を展示実演致します  
にて



### 三笠巡回サービス展

## 大分で行わる

三笠製品の西部地区総発売元の三笠建設機械(本社大阪)に於いては、従来から三笠巡回サービス展を本社担当地域をはじめ、中部出張所(名古屋)、九州出張所(福岡)の各担当地域等で活発に行われていました。このたびは三笠産業からも西販課の東山主任がこの巡回サービス展に参加しました。

今回、大分地区では初めての試みとして、三笠巡回サービス展が同県各地に於いて一月二十三日より一月二十八日迄一週間の日程で開催されました。第一日目別府市、二日目玖珠町、三日目大野町、四日目竹田市、五日目佐伯市、最終日大分市と中道機械産業(株)営業所さんの協力で実施されました。

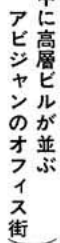
今回のサービス展に於いては三笠



日、夜行便にて東京を後にした十一月十七日、西アフリカへの中継地パリへと向かっていた。パリからは毎日一、二便、エール・アフリック航空、UTA フランス航空が飛んでいる。

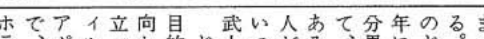
今回、西アフリカへ出張に行くと知人に話すと、私の祖母のように明治生まれの人間でなくとも、「大変な所へ行くなあ、暑くて狂い死にまするんではないか」とか、「象や猿と仲良くなれていいじゃないか」等々の言葉が返って来る。確かに日本からあまりにも遠すぎる所だし、知識のない。『ああそういえばそんな国を前に聞いたことがある』というくらいである。「アフリカのどちらへ？」とくる人だったらかなりの旅行通か、アフリカ通。

アフリカ―これは本当に巨大な怪物みたいな大陸であり、生物の生存を拒む砂漠もあれば神の座と仰がれる雪の峰もあり、広大な草原もあれば対岸の見えない海のような湖もあり、住む人の顔も千差万別、山一つ越した隣同士が全く言葉も通じない滅法に広い場所である。私自身、短期間の出張であるにもかかわらず、『期待と不安』特に不安の比重が相当に大きかったのも事実であった。特に出発前、羽田の検疫所へ黄熱病の予防接種を受けた時、中ラリア、ラッサ熱、赤痢、腸管寄生虫などの話を聞き、これはえらいことだと、それからは予防薬捜しであった。



分訓明書の携帶が義務づけられており、我々日本人のように身につける習慣がない者は、氣を付けなければ檢閲されない。特に夜間にはしばしば檢閲が行なわれるとの事であつた。又、日本人には考えられない事であるが、昼休みが約二時間半から三時間もあり、マネジャークラスでなくても自分の家に帰ってゆっくりと食事をとり、その後ティータイムを充分に樂しむという優雅な暮し。初めて昼食に招かれた時は、そのボリュームの多さに驚かされたり、びっくりしたりの連続であつた。我々も、もう少し毎日の生活を省りみて、如何にしたら毎日をエンジョイしながら生活出来るかを見直してみ必要があるのではないだろうか。

二十四日、アビジャンよりカメルーンのドアラへ向けて出発する予定で飛行場へ行ってみると、チェックインの時点で予約が入っていないとの



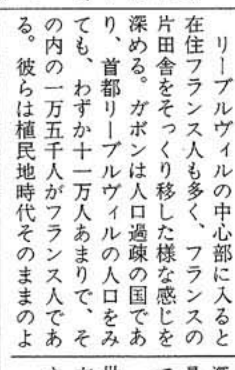
# 四海岸の旅

んだラグーンと呼ばれる潟湖にかこまれた陸地に整然と植えられたヤシのプランテーション、その向こうに高層建築のそびえる美しい町が見える。私自身これがアフリカか何度も見返したが、この実感はエアポートを出てタクシーに乗り、市内の中心に向かうにつれて現実となつて来た。入江に影を落として堂々とそびえる近代的高層ビル、それに入江に沿つて走る自動車道、正にヨーロッパの高速道路の感であつた。古くからフランスの植民地であつた為、現在でもフランス人が企業のトップに立っているケースが非常に多いが、

事、そんな馬鹿な事はない、パリのエアフランスで再確認し、ホテルのエアリアルフリックの事務所で確認をとっている。何かの間違ひだろうと再三言い合い約一時間後、やつとOKになり、いざ乗ってみるとこれがほとんど空席で、いやはや全く馬鹿な話である。

十四時、ドアラ空港に到着、気候はコートジボアールと同じで、丁度日本の真夏くらい陽気、気温は日本で約三十度、暑くてどうしようもないという感じではない。町の中心に入ると、アビジャンの街中とはうって変わって目ばしいビルすらもない。日本からの家族持ちの駐在員はJ.E.T.R.O.の堤氏のみとの事だったが、ここに五人の日本人の侍が居た。夜のとりが降り始める頃になると三々五々ホテルのスナックに集まって来て、お互いの情報を交換する。彼らは木材の買付の為単身このドアラに駐在し、長い人は五、六年になるとの事である。顔は既に充分黒く、中には髭ぼうぼうの人もいて、皆現地人に限りなく近づきつつあるという感である。だいたい日本人が泊まるホテルは決まっていて、いつの間にか仲間が増え、まさに野武士であると思った。

ドアラに三泊し、二十七日、最終目的地ガボンのリブルヴィルへと向かった。飛行時間約一時間、飛び立ったと思ったらすぐにリブルヴィルに到着した。夜九時に近く、エアポートビルを出るとあたりは真暗で、何となく無気味を感じしがたが、ホテルまでの約十分間、実にすがすがしい気分を味わえた。海岸線に沿って約三杆、道路の両側にオレンジの水銀灯が約十米間隔で設けられており、道路は二車線と広く、整っている。



また正月気分の  
覚めやらぬ一月十  
九日早朝東京を立  
ちホンコン・パン  
コクに数日立寄り  
中近東最初の目的  
地クウェートに向  
った。

バンコクからク  
ウェートに行くた  
め、ボンベイで飛  
行機を乗換えた。  
しかしバンコクⅡ  
ボンベイ間の乗換  
えに都合の良い飛  
行機が取れず、東  
京を出発するとき  
には取ったチケット  
ではボンベイで七  
時間も待たなけれ  
ばならない。そこ

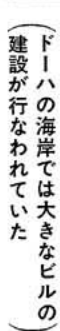
てたのだと言う。検査しても車はど  
こもこわれていない。すると彼は噴  
然として、シート吸殻入れを指さし  
い、「煙草の吸殻でいっぱいではな  
いか」と言ったという。クウェート  
の富を象徴するような話である。

クウェートは、面積は岩手県とほ  
ぼ同じ広さの小国である。しかし国  
民所得は高く、月収二〇万円以下  
の家庭は低所得者層とみなされ、公  
営アパートに入居する資格を与えら  
れるのである。

石油は水を生み、つづいて緑を生ん  
だ。無限の砂の海に生きる人は、緑  
に対して、深い愛着を抱いている。  
クウェートの国会議事堂も緑色だっ  
た。しかし、石油が発見されるまで  
は、新鮮な野菜や果物が食卓を豊か  
に飾ることなど、想像もつかないこ  
とであった。

一月二十五日サウジアラビアのダ

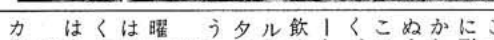
飛行機を使わなければならぬ。近い将来大陸と島（パーレン）を結ぶ



る。国民の生活のすべてはイスラエルの厳しい戒律に従っている。イスラエルの法が利子を禁止しているから、銀行はあっても、利子の制度はない。実際には、手数料の名目で一〇パーセント程度の高利が課せられている。しかし信徒のなかには、預金利子を不浄なものとして、そっくり慈善事業に喜捨してしまうものもいると言う。

またダハラン空港に以前地球儀がおかれたが、コーランによれば、地球は平面でなければならぬと、強く抗議して、地球儀を取り除かせたという話もある。こうした宗教国家にも、石油の富と共に建設の波が押し寄せ、ホテル建設などがあちこちに見られた。

次の目的地バーレンには一月二十七日に入った。ダハランからバーレンは、飛行機でわずか十五分ぐらゐの距離にあるが、遠浅で港には大きな客船が入れないので、旅行者は



（荷物積み降ろしする船で賑わうドバイの運河）

ハイウェイが建設される予定があるという。

パーレンは中近東のオアシスと呼ばれ、街のなかに大きな泉がある。この泉の水は冷たくて真夏には暑さに耐えきれず泉に入る人がいる。しかしあまりの冷たさに心臓麻痺で死ぬ人がいるそうである。パーレンはこの泉に象徴されるように、縁が深く、中近東の避暑地である。クウェート・サウジアラビアでは、一滴も飲めなかった酒が、パーレンのホテルの内では、多少飲むことが出来た夕食の前には飲んだビール味が今更うと非常に懐かしくなった。

私がパーレンに到着した日は、金曜日であり、アラブの休日で、街には買物客があふれていた、路地を歩くと砂埃が舞い上がりズボンや靴は真白になってしまった。

パーレンから飛行機で約三十分、カタールの首都ドーハに到着した。ドーハは、まだ石油が発見されて日が浅く、私の廻ってきた他の国々より開発が遅れているようである。大きな建物も私たちが宿泊したガルフホテルを除くと少ない。現在建築中のビルがいくつかあったが、現場が活動しているのかいないのか静かであった。ホテルから見える港には、二、三隻の船が停泊していた。以前石油が発見され好景気のころには沖合に何十隻という船が荷物を下す順番を待っていたという。

中近東に入り十日余りが過ぎたが、いつも同じような食物に飽きた私達は、スーパーマーケットに行き、牛野菜や魚の缶詰や牛肉の缶詰を買って込んで夕食をとった。ホテルに戻り缶切りを借りようとしたら、ボーイがジュースの缶を開ける缶抜きを待ってきつてくれた。これで開けてと焦れてくなくなり魚の缶詰だけを開けて止めてしまった。そして牛肉の缶詰をボーイにやろうとすると困った顔をした。

ことをしてしまつた。

二月一日最後の目的地 U・A・E (アラブ首長国連邦) に向つた。この国は、石油の富でクウェート抜き世界一の GNP を誇っている。私の訪問した アバジビ・ドバイなどは、一年もすると街の様子が一変し、今まで砂漠だったところについてのか街が出来る。東京の混雑に馳れている私にとっては、ドバイの混雑ぶりが非常に視近感を感じさせた。ドバイなどでは、レバノン内戦があつたとき、難民のためにアパートを建設したが、内戦が終り帰国してしまつたため、アパートは空家ばかりである。

こうして中近東の出張も終りとなつたが、私達出張者にとってホテルの高いのに悩まされた。

最後にこの出張に際し、大変お世話になつた商社、ディーラーの方々に、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

― 輸出課 森 ―

### 社内人事のお知らせ

四月一日より次の通り社員昇格を行いました。

- ▽技術部次長 (技術部開発一課長) 磯部健一郎
- ▽営業部次長 (営業部輸出課長) 高野長四郎
- ▽営業部輸出課長 (輸出課係長) 藤村治久
- ▽総務部庶務課長 (庶務課係長) 炭 善雄
- ▽技術部管理課係長 (管理課主任) 丸山道夫
- ▽営業部輸出課主任 (輸出課員) 金子武生
- ▽営業部札幌課主任 (札幌課員) 神田博世
- ▽経理部会計課主任 (会計課員) 郷古邦明
- ▽営業部輸出課主任 (輸出課員) 森 芳信
- ▽技術部開発一課主任 (開発一課員) 伊藤隆夫
- ▽営業部都内課主任 (都内課員) 渡辺悦子
- ▽総務部交換係主任 (交換係) 峯岸時代



祭を執り行なうことができた。

れまでの経験を生かして立派な初午

十三年の新年会が行なわれた。昭和五  
三階スタレーイトに於いて、  
本社ならびに技術研究所の全員、  
館林・春日部両工場長 札幌・仙台  
出張所々長と代表、それに顧問の生  
生方と大勢集つたので、宴会場は暖  
房と人いきれでムンムンしていた。  
皆が集つたところで定刻に開会。  
本日の幹事長高野出課長の司会で、  
まずは今年成人を迎える若い人達、  
男子一名女子五名の社員が金屏風の  
前に整列し、京谷専務からお祝いの  
言葉と記念品が贈られ、成人者を代  
表して須佐整備員がお礼を述べて  
全員から祝福の拍手を浴びた。  
引き続き京谷専務以下一月生れの  
社員の誕生会が行われ、一同十四名  
が金屏風の前に並んで吉田常務から

（笹友会多羅尾幹事長記）

超高層ビルから  
夜景を眺めて賑やかに  
新年宴会催される

土曜日から三連休を控えた一  
十三日（金）午後六時から、東京の副  
心新宿西口にニョキニョキと冬空  
支えるように聳えている、超高層  
ビルの一つ、京王プラザホテルの四

## 第13回

三笠のタンピングランマーに  
MTR-80H型と80G型の二  
種類ありますが、その違いを  
説明してください。

名古屋市の久野さんからのご質問にお答えいたします。

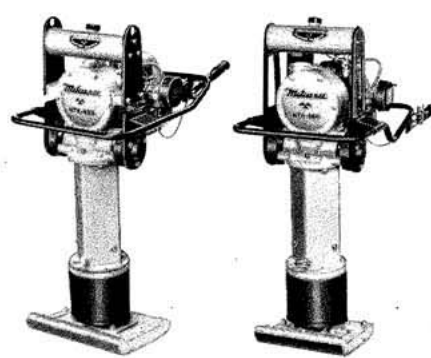
MTR 60型ランナーの後継機として、昭和41年にMTR 80型が登場しました。以来今日まで時代の要求に応じて、幾多細い個所改良は努めて参りましたが、主として本機の性能を左右するジャンプ量の強化に絶えず研究を重ね設計上許し得る範囲内に於いて若干限りの力を発揮させたので、当初の80型のものと現在の80H型と比較するとジャンプ量に於いて2.5倍に強化されています。これがマウティングベストセラーとしてご愛用頂いている80H型ランナーです。この80H型より更に強力な輻圧

|                      |       |       |
|----------------------|-------|-------|
|                      | 80 H  | 80 G  |
| エンジン<br>回転数<br>r.p.m | 3800  | 4000  |
| ジャンプ量<br>mm          | 45~50 | 60~65 |

力を持たせたのが MTR $\parallel$ 80 G 型です。

ガス管、上下水道管等の埋設工事の際には埋戻しの土砂の撒厚も厚くなるので、これを一ぺんに締固めるには可成り強力な輾圧力ではなければならぬ。

MTR $\parallel$ 80 G 型は 80 H 型に比べ跳び上る高さ、即ちジャンプ量が別表のように大変高くなっております。



(MTR-80G型 MTR-80H型)

エンジン(補強型) 四〇〇〇にセット  
スプリングシリンドラ完結  
ガイドシリンドラ  
ダブルガイド  
クランクギヤ(△印打刻)  
尚エンジンは必ず補強型を使  
てください。

第二十八回千代田区  
皇居内堀周回駅伝大会に

### 三笠チーム初参加

二月十一日建国記念の日は、時小雨もバラつく寒い日となった。この日、我が三笠ラグビー部チームは、千代田区教育委員会主催の堀周回駅伝大会に初参加した。午前九時半、スタート地点である千代田区役所に着くと、すでに建



かくして楽しく遊んでいるうち  
お開きの時間となり小林・長谷川  
工場長の手締めで終了となった。

— 杉山記

（京谷専務より成人のお祝いの言  
葉を受ける若人達

の内も外も、参加選手や関係者が、こんな天気にもかわらず、気がムンムンしている。大会は、一般の部五人組で九十二チームが、加、中にはフィンランドチーム、メリカチームなど、外人選手の参も目立つ。

一人内掘一周五・七キロという離は、たいしたことのないようにわれるかも知れませんが、運とはあまり縁の無い社会人にとつは、それほど楽では、ない。まして参加チームの中には、警察官や、動隊など日頃体を鍛えている人達いることを思うと、我がチームのの關を祈る反面、私は段々心細くなってきた。

午前十時緊張の中でスタート我が三笠ラグビー部の第一走者、島選手のダツシュはすばりかつたまるで百メートル競争のような勢で飛び出して行く。十八分が過ぎ、くも最初の走者（千代田教員チームの第一走者で今大会のベストタイ十八分十五秒を出した）が帰つてた。川島選手が戻つてきたのは、時二十四分、第二走者加瀬選手にすきを渡す。日頃ラグビーでフォードの彼はその走り方も豪快だ。時五十分、たすきは第三走者の林手へ。高校時代柔道をやっていたのは我がチーム最年少とはいえ、頼しい。しかし、林選手が戻つてく前に、既にトップのチームのアンがスタートしてしまつた。十一分十九分、やつと第四走者の須佐選

手時カるも彼選十たた十きムム早い川。っ健の機て、動思距加ア参一熱溢  
 がスタート。それから十五分後  
 が、堂々一番をつけた警視庁Aチ  
 ーは一時四十四分三十八秒。そ  
 るといよいよ大変なことになる  
 りのチームのアンカーは第四走  
 到着を待たずに全員一斉にスタ  
 するルールとなっているのだ。  
 は皆、祈るように走ってくる選  
 の中に須佐選手の姿を捜す。そ  
 っているうちに、残りのアンカ  
 の監督がかかり、我が三笠ラギ  
 選手も、落ち着かぬ様子でその  
 加わった。十一時四十分、残り  
 余チームのアンカーが一斉スタ  
 須佐選手が戻ったのはそれから  
 後だった。  
 もうほとんどのチームが走り  
 り、着替え始める頃になっても  
 の金子選手は戻ってこない。ゴ  
 地点にも人がまばらになつた頃  
 くにやつと金子選手の姿が見え  
 隣には、第一走者として走った  
 選手が伴走している。本当に我  
 ームがラストらしい。応援に駆  
 けた同僚の小笠原、倉田両氏が  
 紐を持ってきて、テープの代わ  
 する。周りにいる人達の拍手を  
 ながら、十一時十四分、ゴール  
 総合順位は、全員のタイムの  
 タルで出されるので、我がチー  
 二時間十四分四十五秒で八十七  
 ゼッケンと同じだ。  
 なあんだ、などと笑わないで  
 だきたい。結果は八十七位に終

